

鉄艇

日本と朝鮮半島やアジア大陸の初期の関係は、最新の技術発展に遅れをとらないためにも極めて重要でした。絹や茶など多くの貴重な物資と漢字や仏教などの思想が海路で運ばれてきました。沖ノ島の 5 世紀の祭場で発見された平らな鉄艇は、古代の日本における鉄の重要性を証明しています。

大和朝廷(300-710 年)は朝鮮半島から鉄を輸入しており、同盟国の支援として朝鮮へ日本の兵隊を派兵したことは、鉄の供給を保護する目的が背景にあったと考えられています。鉄の鑄造で知られる伽耶地方の難民は、大和朝廷に雇われて馬具や甲冑を製造し、これが日本における覇権争いに有利に働いたという説が研究者によるとあります。